



すすがも通信

No.19 1983.6.1.

行徳野鳥会報告、一友の会会報



J Tanaka

コアシサシ

83' 4.10 初めての新浜探鳥会あり
ごさしりした。スズガモ通信の会報に83' 3月

イラスト
田中富夫

おまえはその
優美な姿で
白く輝やく
夏の陽光の中
やさしい空気
そっと身を浮
水面をみつめ
身をおどらせ
小魚をとらえ
誘らしげに再
宙に舞い上る
おまえは夏の
妖精
コアシサシ
途

はあとー

—木の香が かおる六月は—

六月が近づくとになると 目立たないが 常緑広葉樹のクスノキや シイ タブなどの 木々も花をつける。 行徳駅前のクスノキも あまざっぱい香りを伝えてきます。

昭和48年に 6月5日を世界環境デーとして きめられ その後6月5日から一週間は 環境週間とし 6月は環境月間として 各地で自然観察会 講演会 美化運動などが おこなわれます。(東京では 6月26日に 自然観察会が主催する シンポジウムが 開かれます。別紙資料参照)

環境庁が昭和46年7月にできて11年 いま一部に環境庁無用論がいわれる このごろですが ここで今一度環境(自然)を守る 原点に立ち返って 次の世代にマイナスの遺産を残さないよう よりよい自然を残すように 自然を守る運動を続けていきましょう。裁判では勝っても いまだに水汚染患者への救済も十分行なわず NOxの基準をかんわしておきながら 公害問題は改善されつつあるような 宣伝がされています(アキカン)

「ジョギング探鳥」 大園 明

昨年八月 ここ南行徳の塩浜団地に引越してきて 初めての五月 バードウィークを迎えた。 総武線市川駅前から こちらにきた理由の一つは 自然(緑と野鳥)があること 半年が過ぎた今 充分満足している。

五月十二日 朝五時起床 早朝ジョギング探鳥をこころ見る コースは団地を一周して 野鳥観察舎の周囲を走る約4キロメートル。

十四階建の十四階にある我が家から 下に降りると 三羽のオナガが ギューイ ギューイと鳴いて朝の挨拶 準備体操をして出発。 団地周辺のアシ原でオオヨシキリが ギョギョシ ギョギョシと大声で ナワ張宣言 この間まで一羽だったのが四羽に増えている。 電線にはカラヒワが一羽 ビーン ビーンと自己を主張している。 朝帰りのゴイサギが団地の上を 保護区の方へ帰って行く。

観察舎入口近くのアシ原には これまたナワ張宣言のオオヨシキリが五羽 ギョギョシ ギョギョシと大変にぎやか…… モズがいた。 辰をゆっくり回し 知的な鳥 モズは私の好

ゴミなどの生活廃棄物を問題にして 企業に よるもっと大きな公害には目をつぶって)

また水鳥の住む 湿地はどんどん埋め立て られつつあります。

環境庁ができるより 6年も前に自然保護運動の先駆的な運動をおこした蓮尾純子さん(旧姓古川)たちの 水鳥の住む湿地(新浜)を守る運動が 今の行徳野鳥保護区をつくら せたのです。

保護区周辺の湿地がだんだんと 失われつつある現在 この保護区の重要度はこれから ますます増してきます。

みなさんの 知恵と力で この保護区を逃げ場のない水鳥の 楽園となるようにしていきましょう。

そして 私たちの身のまわり 地区やいろいろな所で やみくもな開発の声にまけないよう しっかりと自然や環境をみつめていきたいと思ひます。(6/1 田久保晴孝)

きな鳥のひとつ どこかでハシボソガラスが 苦しうに鳴いている。

ジョギングも後半 観察舎に近づいた。 いつも気になっている トビのミルプス君に 挨拶する 彼はマイペースで地上におちている布で遊んでいた。

ヒューという何ともいえず悲しげな声。

トラツグミが鳴いている 昔この声が ヌの 声と言いつたえられたのも わかる気がする しかしトラツグミは姿の良い鳥で これも好きな鳥のひとつである。

ケンケンと 保護区の方でキジが鳴いた。 カルガモが二羽 空を行く ヒナが見られるのも間もないことと思われる。

水路にそって走っていると コチドリが川面を ビビューとするどく鳴いて飛んでいった 約25分 走り終えて団地にもどると ヒヨドリが四羽 ビーヨ ビーヨと鳴いて迎えてくれた 私はこの様に野鳥の豊富な塩浜へ来て 本当に良かったと思ひている。

※(ヌエ)=頭はサル 身体はタヌキ 手足はトラ 尾はヘビに似るといわれる親類上のもの。=三省堂国語辞典より

すずがも

新浜探鳥会に参加して

☆みんなの目が夏羽のツルシギに集まっていた よやく見飽きた頃に 突如空から四羽のセイタカシギが降ってきた。

その優姿にほかのものは 全てかすんでしま い おまけにデモンストレーション飛行まで 見せてくれたものだから 彼らの演出にだまされたのだろうか?

いつでも保護区の主役はセイタカシギらしい。

白柳光明

このところ 高尾山や森林公園などで 山の鳥を多く見て来たので コチドリ キョウシギ セイタカシギなどを見て とても感激。

夏羽になったユリカモメに思わずコンニチワ! 天候にも恵まれて とても楽しい一日でした またちょくちょく参加したいと思ひます。 ありがとうございます。

日本野鳥の会 東京支部 鈴木信子

香港からの手紙

観察舎 様へ

いつまでたっても 会費を払わず 皆さんに迷惑をかけてしまって 本当に申しわけありませんでした。 私は現在香港に住んでいます。 香港は行徳のように水鳥はいませんが トビや カササギをよく見かけます。 春だというのにツバメはいません。 セキレイや レンジャクの種類も いるようなのですが 私のような素人には さっぱりわかりません。

香港はこの季節が 一番霧が濃いそうです。 気温はまだ25℃ですが 湿気が多く 部屋のカベや ドアにカビがはえています。 毎日 雷が鳴ったり 風が強かったりで 天気のよい日は 一度もありません。 これからが本格的なのだそうです。

写真でよく見かける香港というのは ごちゃごちゃしていて 環境が悪そうですが リバースペイや まわりの島々はとてもきれいです。 日本人が多く 企業もほとんど日本のものなので 優越感を持っているせいか 日本人はあまり 好かれていません。

香港には 日本のように鳥獣保護区のようなものは 見当りません。 山はどんどん切りくずされ マンションがたっていきます。 植民地というだけに いつ何が起るかもわからないし あと11年ほどで中国に へえされるのですから 香港の人としては そんなゆとりがないのかもしれない。 そろそろたくさんのヒナたちが 観察舎に連れこまれて いっそういそがしいと思ひますが がんばってください。

さようなら

香港にて 友の会会員

笹木 瑞穂

(投稿稿) ありがとうございます 御活躍を祈ります 続報をおまちしています 編集部

。アカシウビンと カラス (カラスは昔 紅かった…)

昔々のこと カラスは紅く アカシウビンが黒かった。 ある日カラスとアカシウビンは 山あいのわき水で お互いの着ているものを脱いで 水浴びをしていた。

アカシウビンは カラスの紅い着物が前から欲しくて仕方がなかった。

そこで 先に水から上がり急いでカラスの 紅い着物を着て 飛んでいってしまった。

怒ったカラスは アカシウビンの残して いった黒い着物を着て あとをおいかけた。 やっとカラスは アカシウビンに迫りついで アカシウビンに 着物を返すように言

ったが アカシウビンは ぜんぜん聞こうとしなかった。

腹をたてたカラスは 「コンチクシュー」とばかりに ○△×をアカシウビンの上からひっかけてしまった。

それからアカシウビンの腰のあたりには 水色がかった白い はん点があるのだ そうな

—沖縄民話—



行事案内

誰でも自由に参加できます。

新浜自然観察会—

6月12日、7月10日(8月14日は未定)
集合：東西線行徳駅前 午前10時
解散：野鳥観察舎 午後2時半頃
わずかに残されている 妙典地区の湿地や
保護区で カモ サギ カモメ バンなどの
水鳥を中心に 動植物の観察をします。
(午前中に江戸川放水路 妙典の観察をして
午後は 保護区に 入らせていただく予定です。
江戸川べりから バスで 観察舎近くまで行きます。
お弁当 水筒 雨具を お忘れなく。

一定例園内自然観察会— (観察舎主催)

6/5. 6/19. 7/3. 7/17. 8/7. 8/21
(毎月 第1第3日曜日)
集合：野鳥観察舎前 午後1時半
解散： ” ” 午後4時頃
園内の 観察路を 約3.5km歩きます。
歩きやすい 服装でどうぞ。

(7月 8月の観察会は 集合時間が午後3
時になります。まちがえないよう願います。)

図書館の壁にかかっている、小さな絵をご
らんになったことが あると思います。

その作者 大関みづ江さんが 今回市川市
芸術展で 奨励賞を受賞しました。今号にジ
ョギング探鳥を執筆された ご主人の大関朝さ
んとともに 友の会の会員です。

—事務局より—

今年度の会費を 納めて下さい。 一般会員1000円 賛助会員2000円以上 ジ
ニ7会員(小中高校生)500円です。 観察舎で お金をあずかってもらえます。
その他 絵はがき 鳥のマスコット 本などを販売しています。

—編集後(荒)記—

・18号、19号とタイフンによる すずかも通信 よネやすいですか。新妻さんの努力のおかげです！
(お騒がせ) 東さん大事に 赤ちゃん秋ササキ
・四月から取場、複起、時向 が取れず、原稿の集まりは思ひし。何々やる気が出
こない。でも 何とかかんとか 出来た本を。(原稿を、待つマス) 途夫

すずかも通信 NO. 19 1983年6月1日 振替台6129 年会費1000円	発行人 竜谷 栄 事務局 鈴木 有 編集人 田久保 晴孝 新妻 途夫 観察舎	市川市福栄4-2-2-1.1 TEL 0473(97) 9046
--	--	----------------------------------

—特別行事—

サギ山見学会 6月26日 小雨決行
集合：野鳥観察舎前 午後1時半
定員：30名 (小学生以上)
観察舎蓮尾(0473-97-9046)まで 電話
で申込み受付けます。 定員になり次第
打切ります。
案内：今年も少数ながら行徳で サギが何
種か繁殖しています。今は少なくなった
新浜のサギ山を見学します。 場所柄
カメラの持込みは できません。

夕すずみ観察会 7月24日 雨天中止

集合：野鳥観察舎前 午後5時
解散： ” ” 午後7時前
担当：観察舎 蓮尾
風がひんやりと涼しくなる頃 鳥たちは
新浜鴨場のねぐらをして 次々と帰って
きます。ムクドリの大乱舞も 見られるで
しょう。マツヨイグサの咲く頃解散します
☆虫さされに注意 長ソデ長ズボンが適当。

観察舎に野鳥のヒナたちが どんどん持込ま
れてきます。まだ羽毛もはえそろうない彼ら
の世話で 観察舎は大イソガシです。何しろ
1時間ごとに エサをやるのですから。